

# 第5回全国清水寺ネットワーク会議 報告

日時 96年11月2日～3日  
会所 九州 福岡県山門郡瀬高町大字本吉  
本吉山 清水寺  
会場 柳川市「御花」  
参加者数 44名



## 会議次第

森（京都清水寺）代表幹事 挨拶  
会所山主（瀬高清水寺）鍋島師 歓迎の挨拶  
来賓挨拶 長野善光寺副住職（九州西国霊場会会長）菊川 春暁師  
御花社長（柳川観光協会会長）立花 寛茂氏

## 参加者紹介

報告 事務局長 清水谷善圭

台湾清水寺4ヶ寺参拝報告

和歌山県新宮の清水寺 川原 卓雄師ご遷化

## 議事

1、会議テーマ採択

別紙

2、今後の会議の進め方

「自然を守る会」当の市民グループとの連携を進めるべき。

3、次回開催地の選出

第6回会議の開催地は東京都町田市の清水寺に決定

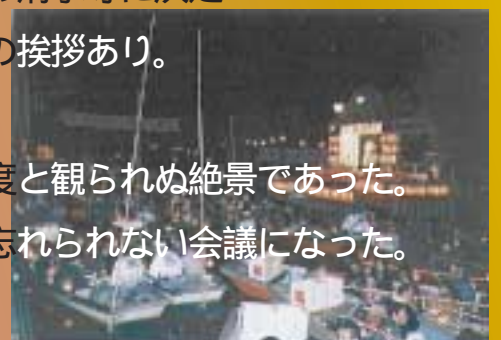
町田清水寺ご山主 河出師より招請の挨拶あり。

懇親会 白秋祭水上パレード参加

素晴らし川下りと真上で弾ける花火は二度と観られぬ絶景であった。

又、途中からの豪雨と相まって、絶対に忘れられない会議になった。

3日 瀬高の清水寺本堂で合同法要を勤める。



# 「第五回全国 清水寺ネットワーク会議のテーマ」

全国の清水寺の寺名の由来に“ 清い水 ”との関わりが大変多いと聞き及びます。“ 清い水 ”は生命のみなもとともいってよいでしょう。

その寺名を持つ全国の清水寺の住職が集まり、親睦を深めながら「世界の平和と、地球環境浄化」を祈り、それを社会にアピールする事は大変有意義な事と思います。

柳川をこよなく愛した北原白秋の文学の母体は、豊かな水にあふれた「この水の柳河」（「水の構圖」）です。水と関わりのある寺名の集いがこの水の柳川で行われるのも何かの縁と思います。

我々人類の幸福は、平和と環境浄化抜きには考えられません。

「世界の平和と地球環境浄化」を水の柳川から強くアピールしたいと思います。



